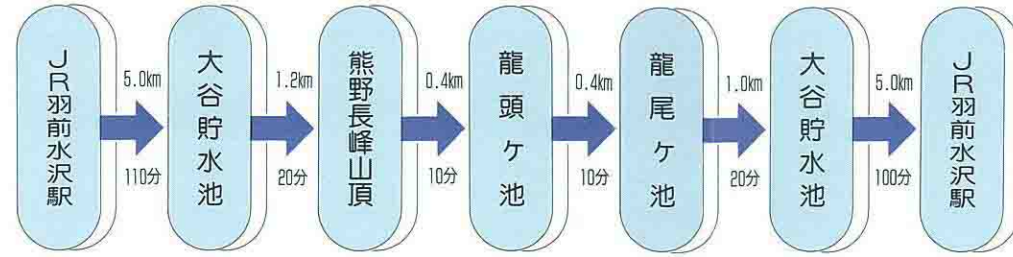




湿原をめぐるみち

●コース (13.0km・徒歩4時間30分)



周辺
見ど23
食べど23

◎鶴岡の白い季節

名曲の「雪の降るまちを」発想の地は鶴岡です。昭和27年鶴岡駅に降り立った作曲家田中喜直氏は、雪の降る中を馬そりにゆられながら、郊外に住む知人の菅原喜兵衛氏を訪ねました。そのときの情景がこの名曲を生んだと言われています。



雪景色の鶴岡公園がいわい

◎致道博物館



旧郡役所

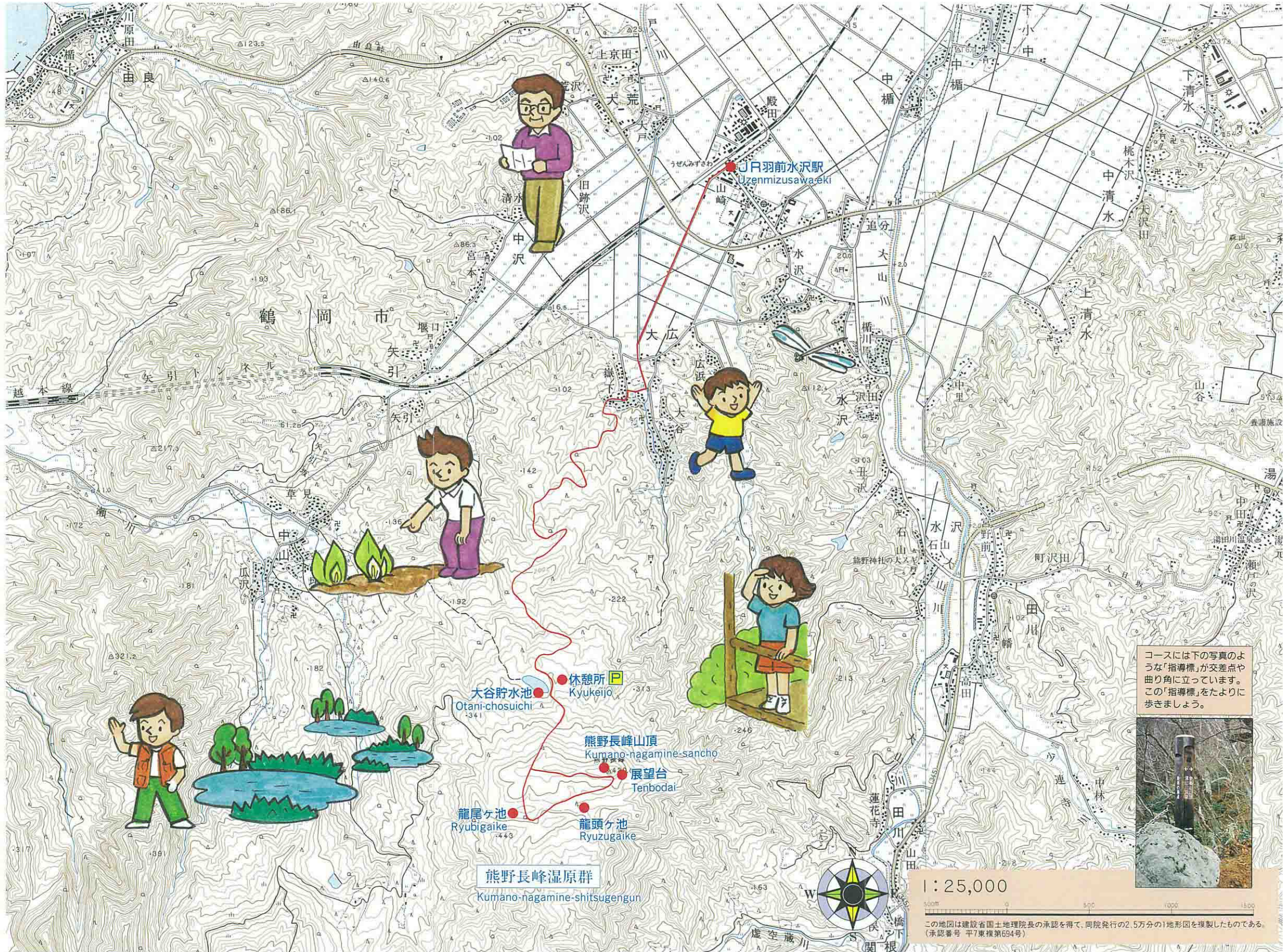
致道博物館はその昔、鶴ヶ岡城(現鶴岡公園)の三の丸にあり、庄内藩主酒井氏の御用屋敷となっていた所です。宝物、重要民族資料を配する建物・庭園は、いずれも江戸時代に作られたものです。質素な中にも剛健な武士の魂を今に伝えるたすまひです。敷地内には田麦俣多層民家をはじめ旧西田川郡役所・旧鶴岡警察署庁舎などの明治時代の建築物が移築されています。この致道博物館には、国宝が2点、重要文化財・建造物2棟をはじめ国指定文化財が18点、県指定文化財13点が収蔵、保存されています。

◎だだちゃ豆

庄内特産の枝豆です。ひょうきんな名前は「だだ」、すなわち「おやじ」からきていると言われてますが、豆自体の持つふくよかな風味と粒の大きさには、県内外で定評を得ています。



だだちゃ豆



コースには下の写真のような「指導標」が交差点や曲り角に立っています。この「指導標」をたよりに歩きましょう。



この地図は建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を複製したものである(承認番号 平7東環第694号)